

環境影響評価集計表 環境影響に関する「地域と連携した活動」・「環境教育や環境研究成果の普及啓発」・「環境改善のための活動」一覧

(集計対象:平成25年度 調査実施年度:平成26年度)

部局	No.	活動団体や学会・講演会の名称・活動の名称など	氏名	活動の概要
人文学部	1	「フランス文学者が語る葡萄酒の魅力」(平成25年度安曇野市民大学講座第1回講師, 9月19日, 於豊科ふれあいホール)	吉田 正明	葡萄酒の魅力について, その味わい方, 香りや味覚や色合いの表現の仕方, 料理との相性等について, 葡萄酒をテーマにしたフランス文学作品を適宜鑑賞しつつ, 一般市民対象に講演を行った。
経済学部	1	文部科学省支援プログラム 松本市中央公民館における「景観から地域づくりを考える」講座	内田 真輔	当該講座にてコーディネーター&講師を担当。景観の保全や創造が地域づくりにどう貢献できるのかを考えるにあたり、景観の本質(経済的・文化的変遷要因)や松本市の現状・課題などに関する学習を誘導
	2	メガソーラーたけとよ・碧南火力発電所の視察	内田 真輔	エネルギー問題の現状について、専門演習所属学生に実体験から深く認識してもらうために、地域の民間企業(中部電力)と協力し、太陽光発電所・石炭火力発電所内外部の視察を開催
	3	教職員免許更新講座:『環境と経済の関係について考える』	内田 真輔	当該講座にて講師を担当。環境問題の原因究明と解決策について、経済学的な思考・手法の提供、実例を基に思考・手法を応用実践する能力の養成
理学部	1	第22回環境化学討論会	墨 泰孝、國頭 恭、石川祐一、朴 虎東、佐藤 強、長岡一成、相川良雄	湛水状態と非湛水状態でアルカリ資材添加が土壌中重金属形態に与える影響に関する研究成果を発表した。
	2	日本土壌肥料学会2013年度名古屋大会	墨 泰孝、國頭 恭、石川祐一、朴 虎東、佐藤 強、長岡一成、相川良雄	湛水状態と非湛水状態でアルカリ資材添加が土壌中重金属形態に与える影響に関する研究成果を発表した。
全学教育機構	1	これからの環境教育を考える(平成25年度教員免許更新講習)	河野桃子	幼・小・中・高における望ましい環境教育のあり方について、主にESD・ホリスティック教育という観点から考察を行った。
	2	出前講座及び講演依頼に対応	大塚 勉	地域からの要請に応じ、居住地域の地質環境と災害の危険性について解説した。
	3	長野県環境審議会温泉審査部会	大塚 勉	副部会長として温泉資源の保全と有効利用のために地質環境に関する側面から意見を述べた。
	4	「ドイツ環境ゼミ」ドイツ研修(語学研修、環境視察)責任者 (引率2.15-3.10、グローバル人材育成事業経費による)	松岡幸司	共通教育の授業「ドイツ環境ゼミ」の実施。 ドイツ研修(語学研修+環境視察)の際に、ハノーファー市を中心として、学生を環境関連施設の視察に連れて行った。現在、学生たちはその報告書を作成中。

全学教育機構	5	マレーシア・プトラ大学職員研修団の受け入れ、松本キャンパス及び工学部キャンパス、11月16～21日	金沢謙太郎	マレーシア・プトラ大学のUPM TOPという職員海外研修の一環で派遣された2名の技術職員に対して、本学の環境ISOの取組みを実地に見学していただきました。
	6	信州大学環境報告書2013作成WG座長(7月から任期11月まで)	金沢謙太郎	任期途中の交代により、急遽座長を担当しましたが、事務局の尽力のおかげで無事環境報告書2013を発行することができました。
	7	環境社会学会の理事、国際交流委員長(2012年から任期6月まで)、同委員(6月から翌年3月まで)	金沢謙太郎	環境社会学会の国際交流委員長として、学会会員の国際交流を促す活動を行いました。
	8	産業環境管理協会(経済産業省エコリーフ事業)	小林充	ISO14025タイプⅢ環境ラベル(エコリーフ)の評価レビュー、事業所システム審査の認定審査および製品分類別基準の審査:代表委員
	9	日本環境協会(環境省エコマーク事業)	小林充	ISO14024タイプⅠ環境ラベル(エコマーク)の審査委員会:委員長代理 ISO14024タイプⅠ環境ラベル(エコマーク)の基準制定:委員
	10	エクセラン高等学校	小林充	JST理数学習支援センターのSPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)で、高校生と保護者を対象にライフサイクルアセスメントを普及。
医学部	1	環境省 健康リスク初期評価委員会 検討員	野見山哲生	国の健康リスク初期評価委員会において、健康リスクを生じる可能性のある化学物質の初期評価を行っている
	2	環境省 健康リスク初期評価委員会 非発がんリスク評価WG 検討員	野見山哲生	国の健康リスク初期評価委員会において、健康リスクを生じる可能性のある化学物質のうち非発がんリスク物質に関して初期評価を行っている
	3	環境省 微小粒子状物質等疫学調査研究検討会 検討員	野見山哲生	国の微小粒子状物質(PM2.5)の健康影響を調べる疫学調査研究の計画、実施を検討している
	4	長野県 環境影響評価技術委員会 委員	野見山哲生	県に提出された環境影響評価対象案件に関し、検討、審査を行っている
	5	松本市 環境審議会 会長	野見山哲生	松本市長から環境に関係した諮問のある事案に関し検討を行っている
	6	松本市 長野自動車道環境問題対策協議会委員	野見山哲生	松本市内の長野自動車道の環境問題に関して検討を行っている

医学部	7	松塩地区環境保全協議会	野見山哲生	松本、塩尻地区における、廃棄物処理とその環境保全に関して検討を行っている
	8	まつもと市民環境大学 事務局長	野見山哲生	NPOや各種環境団体、研究者、活動を行う人々が、一般の人を対象とした啓発活動を行っている
	9	木曾町環境協議会・環境教育部会 委員	塚原照臣	木曾町における環境対策への取り組みにおいて、町の環境教育に関する審議、検討、企画を行っている。
	10	環境省 健康リスク総合専門委員会ワーキンググループ 委員	塚原照臣	環境省による「有害大気汚染物質に関する健康リスク評価調査」のワーキンググループの委員としてリスク評価について検討を行っている
	11	環境省 平成25年度光化学オキシダント等大気汚染物質文献レビュー業務に関わる検討	塚原照臣	光化学オキシダント等の大気汚染物質による健康影響について、文献レビューの検討員を務めた
	12	環境省 微小粒子状物質等疫学調査実施班委員	塚原照臣	国の微小粒子状物質(PM2.5)の健康影響を調べる疫学調査について、長野地域の調査を担当している
	13	文部科学省「放射線に関する出前授業」 (受託:日本原子力文化振興財団)	廣田 昌大	長野県及び近隣県において小・中学生等に対して環境中の放射線や福島第一原子力発電所事故が環境に与えた影響等の講義を行った。
内部部局	1	こまくさ寮	代表者 寮長 頼巖 文音	毎年、寮の東側を流れる大門沢川の一斉清掃に吹く数人参加し、地域住民と川の西岸周辺の草刈等を行った。
	2	分別廃棄ペットボトル売買契約の締結		松本キャンパスにて排出される分別廃棄ペットボトルの年間売買契約を締結している。 なお、今年度も年間売買契約を締結している。
	3	環境配慮契約法に則った学用車の調達		学用車更新の際、環境配慮契約法に則り、購入価格及び環境性能を総合的に評価し、その結果もっとも優れた提案【車種】をした者と契約を締結している。(昨年度購入実績 4台) なお、今年度も上記と同様の学用車調達を2台計画している。